

こんにちは 日本共産党福生市議会議員

池田公三 さん です

2022. 1. 24

事務所 志茂 115 アイエスマンション 101号

電話 042-530-0705

<http://www.jcp-fussa-sigidan.jp/ikedada>

なんでも相談 第1火曜 午後7時

法律相談 第2・4火曜 要予約



冷たく弱い「新自由主義」経済から やさしく強い循環型経済へ転換を



新型コロナウイルス感染症はついに第6波に突入し、国民の暮らしは厳しさを増しています。一見すると自然災害に見えますが、実際は小泉政権以来の新自由主義路線がもたらした政治災害の側面が大きいのです。日本共産党の田村参院議員がコロナ以前から国会で指摘していました。目先のコスト削減・効率だけを優先し、感染症対策を担う保健所や公立病院の削減、将来を見据えた科学・医療の基礎研究予算の削減などは、いざという時に対応できなくなるからやってはいけないと。

今回の事態は予見されていたのです。感染拡大で保健所や病院がパンクし、自宅に放置される患者。国産のワクチンを開発できず外国に頼り、ワクチン接種が大きく遅れたのも、目先の企業利益を優先する新自由主義路線の結果なのです。正規雇用を減らし、非正規雇用を増やすコスト削減で目先の利潤確保に走る日本が、結局、国内購買力を低下させ、世界で最も経済成長率の低い国になったのです。国民にがまんを押し付ける冷たい経済は結局、弱い経済になるのです。

「新しい資本主義」などと言っていた岸田首相ですが、国会での志位さん、小池さんの追及に、結局、新自由主義の焼き直しであることが暴露されました。政権交代しかありません。賃金、年金、社会福祉を充実させる政治こそが、国民を豊かにし、国内購買力を復活させ、輸出に過度に依存しない国内循環型の「やさしく強い」日本経済を実現できるのです。

福生市政も新自由主義路線から脱却を

さて、福生市政はどうでしょうか。実は国政と似ています。加藤市長は、市政運営にも民間と同じ「効率化」「コスト意識」を求め、職員定数削減、正規雇用を非正規雇用置き換えることを行ってきました。その結果非正規職員が40%近くに達しています。保育園や給食センターの民営化も同じです。結果、社会全体の低賃金化を促進しています。また、中央図書館の大規模改修（1年半閉館）に伴い、4月から14人もの非正規職員の雇用打ち切り（解雇）予定という冷たい行政です。代わりに正職員だけで行うさくら会館での予約貸し出し業務も夜間は中止というサービス低下。利用客が増える3つの分館や学校図書館への司書増員・配置をとという要望に拒否回答です。

市民サービスの面では、「受益者負担」という理由で手数料や使用料の値上げや新規導入を行っています。公共サービスは市民なら誰でも無料で受けられるのが原則です。「受益者」には当たりません。そして、財政調整基金という基金（貯金）を過度にためていることも問題です。

日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2022年 1月
日本共産党福生市委員会
責任者 太田
福生市志茂 115 101号室